

パブリックコメント実施結果調査書

案件の名称	小値賀町国土強靱化地域計画
実施担当部署	総務課 防災交通係
意見等の募集期間	令和3年1月12日～令和3年2月10日
意見等の受付件数	1件(2人) (郵送:0件、FAX:0件、メール:0件、持参:1件)

1. いただいた「ご意見等」・「町の考え方」の内容

ご意見の箇所	提出いただいたご意見等の概要	町の対応と考え方
	(提案したい点)	募集期間終了後、面談して協議。以下のとおり町の考え方等を説明し、計画内容には了承いただきました。
	①町が抱えるリスクとして、考慮の余地を入れてもらいたいこと。 ⇒最悪の事態が起きてしまった場合の行動指針を定めてほしい。	①想定外を想定することが危機管理の基本であるため、最悪の事態を想定している。
	②歴史検証の重要性を考慮の入れる。 ⇒町全体で古文書などを集めてみてはどうか。	②今回の計画策定に際し町民アンケートを実施し、町民の皆様のご存知の言い伝え等についても回答いただいた。歴史の発掘は災害対策としても重要と考えている。
	③組織的な問題 ⇒それぞれの問題点において、それを解決する部署が決められている。	③行政の課題として、意識改革が必要。公民合同活動システムを構築していく必要ありと考えている。
	④誤字、脱字がある。	④ご指摘通り、一部に誤字等があったため修正した。
全体	(直近の問題として感じたこと)	
	⑤島民の声が後半に記載されていたが、感じたのは『役場任せ』の感が強い	⑤住民、行政ともに意識改革が必要。本計画においても行政のみではなく、町民・事業者、地域と役割を分担し、自助・共助の範囲を明確にしている。
	⑥災害発生前に災害発生後に必要な食料・医薬品の備蓄を促す。	⑥町民へ備蓄を促すとともに行政でも備蓄を進めていく必要があると考えている。具体的な計画については地域防災計画の中身となってくる。
	⑦消防団の災害時の体制について	⑦消防団の災害時の体制について、今まで地域防災計画に記載がなく明確化されていなかった。ただいま地域防災計画の修正作業を行っており、消防団の役割等を明確にし、意識づけていくようにもっていく。また、退職消防団員の活用についても地域防災計画で補強していく。
	⑧女性、婦人会の災害発生時の参加について	⑧女性、高校生、子どもの力が必要となってくるが、各家庭の判断となる。
	⑨今後、小値賀町の国土強靱化地域計画は常時アップデートが必要であるとする。	⑨計画は見直しアップデートさせていく。

パブリックコメント手続きに関する問い合わせ先

総務課 防災交通係 坂井・太田 TEL: 0959-56-3111 FAX: 0959-56-4185
E-mail: soumuka@town.ojika.lg.jp